

登録コード	E0000909	開講年度	2026			
授業科目	コンピュータ利用教育 J				担当教員	小倉 光明
英文授業名	Educational Computing				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生
講義室	教育学びセンター 201		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	公共的な使命感や倫理観を身につけることができる
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	ICTの教育活用に関する基礎的な知識・技能を身につけることができる
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	ICT活用の基礎およびGIGAスクールの対応について、講義と演習を通して学び、グループによる協同学習を中心として、ICTを活用した様々な課題に取り組む。成果発表を適宜行い、総合評価する中で、教育におけるICT活用の指導力を向上させる。					
(5)授業計画	第1回 コンピュータ利用教育の概要（オンデマンド・学びセンター担当） ※全ての回で情報機器の活用を含む 第2回 生成AIの基礎と対話型AIの活用（オンデマンド・学びセンター担当） 第3回 自分専用AIの作成と業務効率化（オンデマンド・学びセンター担当） 第4回 信頼できる情報の分析と論理構成（オンデマンド・学びセンター担当） 第5回 マルチモーダル生成と創造的アウトプット（オンデマンド・学びセンター担当） 第6回 Classroomによる学習環境の構築 第7回 Google for Educationの活用 第8回 プログラミング教育の基本 第9回 ビジュアル型プログラミングの演習 第10回 AIを用いたプログラミングの演習 第11回 デジタルシチズンシップとデジタルコンテンツの活用 第12回 教育データの利活用の意義の理解と演習【データサイエンス含む】 第13回 Webサイトの制作と公開 第14回 最終発表 アンケート実施					
(6)成績評価の方法	・課題の成果60%，最終課題20%，課題及び授業での取り組み状況20%で評価し、総合としての成績を決定する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 ・5回欠席 不可					
(7)成績評価の基準	課題に対して、①概要が適切に説明されている。②基礎的事項が科学的理論に基づいて説明されている。③理論と実際とが比較検討されている。④理論と実際との比較から問題点と課題が把握できている。⑤自分の見解を科学的理論に基づいて創造的に考察されている。 ・①～②項目までができていれば「水準にある」 ・①～③項目までができていれば「やや上にある」 ・①～④項目までができていれば「かなり上にある」 ・①～⑤項目までができていれば「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	・この授業科目は30時間以上の時間外学習が必要となる。 ・予習：毎回の講義タイトルを「キーワード」として事前に概ね1時間は関連事項を調査する。 ・復習：授業時に興味をもった「キーワード」について、概ね1時間は図書館などで調査、あるいは試して確認する。 ・課題のレポート作成を通して関連知識を深める。					
(9)履修上の注意	・無線LANが使用可能なノートパソコンを持っていること。 ・オンデマンド及びオンライン同期型での演習も含むので、Webカメラやマイクも使用可能であること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	連絡先：m_ogura@shinshu-u.ac.jp 研究室：W221					
【教科書】	適宜指定する					
【参考文献】	適宜指定する					